この意味で私は、役人を利用なさいとお勧めするのです。官僚だ、官僚だとて毛嫌ひしてはいけません、またよく官僚を打破せよといひますが、役人は一寸たゝいた位でつぶれるものではありません。それよりもその役人を利用なさるがよい。なあに役人といふような俗人どもがといつて眼中におかない様ではいけない。私は仙俗合同を主張します。即ち教育者といふ仙人が役人といふ俗人と合同して初めて、事がうまく行くのです。よろしく教育者たる、また幼稚園教育の上に實際家としての權威を有する皆様は、充分その所信のある所をのべて、政府をして充分その仕事を了解せしめ、實行せしめるの機運をおつくりになる様に私はお勧めしたいのであります。

（筆記——文責在記者）

○ちゅちゅむさん

——古いノートの中より——

ちゅちゅむさんのお宅の御門に忌中といふ札が貼つてあります。進さんは一昨日は戸外でいつもの通り遊んでゐましたが昨日の夕方は體温が四十度以上で寝てゐたといふ事です。まさかあの子が。

四つになる進さんは誰にも抱かれません。多勢の兄ちん達や姉さん達と一所になつて少し覺束ない足取を——義經はそんな弱蟲ちやないと皆に笑はれまいと——して獨立獨行の強い意志で歩いてゐます。駈出しさへもします。私には無論初めは抱かれませんでしたが一度二人ぎりでモヂヤ〳〵をして以來、進さんは私を知り私を覺えました。それからこつち、モヂヤ〳〵の伯父さんたる私にはいつでももちつとして抱かれるのです。きつと私を父ちやんと辨慶との合の子位に思つてゐるのでせう。進さんにお菓子をあげる時、今こゝでお食りといふとすぐそれをむしや〳〵やりますがお宅へもつて歸るんですよと言うて聞かせるとうんといつて胸にだいてさつさと歸ります。誰にあげるの？父ちやん？母ちやん？ときくと「一番上の姉ちやんにも」と答へます。軍樂を奏するとて、兵隊さんが通ると、ラッパの底から一隊の兵士が行進して出て來るものと信じて身を堅くして待ち構へてゐます。そしてラッパばかり聞えて遂に影も形も見えないと細い眼を丸くして誠に奇異の思をします。蓄音器が鈴蟲松蟲といふ唱歌を唱ひ出すと「ちゅちゅむさんの松原さんだつて」と、自分を呼ぶといふて、ニコ〳〵してゐます。

進さんはかういふ本當に可愛い子だつたんです。

蘭は天くして挫けた。進さんのお宅の門の忌中の札は矢張外ならぬ進さんその人のためであつたと分つた時、落著いて嘘ぞと信じ嘘でないと分つて人はそんなに容易に死ものかを又聞る怪訝に思はれた。進さんの顔がひたと視神經に喰ひ入つてはなれませぬ。自然と人間との永遠の戰です、人の智慧がすゝむにつれて、人は自然を征服する。自然はその敵討をせずには居らぬ、自然に與へられた防衛を奪ひ行く上に種々な新たな病を施します。あゝ可愛い進さん、私の四歳の親友、自然と人間との戰ひにこれは餘りに悲しく慘酷すぎる犧牲です、幼時は何にもにらないんですから。

「子は息才に生び立つてみするが深き孝行」と。大凡の親心を淋しい絲の上に託した人情の生地です。ちゅちゅむさんを返して下さい。進さんは可愛いんですもの。